

コアラとユーカリ -金沢動物園で飼育しているコアラのユーカリの嗜好性について-

賀曾利亜紀

コアラの餌のユーカリは、日本に自生していないため、コアラを飼育するために栽培委託し、搬入している。横浜市内にも圃場があるが、冬期は新芽が出ず、枯れてしまうため、12月から5月の間は、主に鹿児島県と沖縄県で栽培されたものを餌としている。鹿児島県の山地の圃場は、温暖な気候なので、これまで雪が降ったとしてもユーカリに大きな被害をもたらすことはなかったが、2023年1月に降った雪では、ほぼ全てのユーカリの新芽が枯れてしまった。新芽しか食べないと言われてきたコアラだったが、新芽が枯れたユーカリを給餌したところ、思いのほか成葉を食べた。採食量をできるだけ減らさないように、沖縄県産のユーカリと横浜市内のハウス産のユーカリを混ぜるなどの工夫をしたところ、良質なユーカリの採食量と比較して、3%ほどの減少はあったものの、体調を崩すことはなかった。

個体にもよるかもしれないが、必ずしも新芽がないと食べないというわけではなく、見た目が良くないものも季節によっては好むことがあること、収穫から2週間近く経過したものも食べること等、新たなことがわかった。